

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		010103010300		事業の種類		5	
年度	27	事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業	予算事業名	こんにちは赤ちゃん事業	優先度	4
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名		健康福祉部子育て支援室	
施策名(中)		援助が必要な子どもと家庭を支援する		担当課長		平松 孝夫	
取組み事項		子どもへの虐待防止対策を推進する		実施計画への記載		無	
実施計画事業名				主要事業の指定		無	
根拠法規及び関連法規		児童福祉法第6条の3第4項					
事業の目的	誰のために(具体的に)	生後4カ月までの乳児がいる全ての家庭(新生児訪問を受けた家庭を除く)。					
	誰(何)を対象として	生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭(新生児訪問を受けた家庭を除く)を対象。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	保護者の様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行い、乳児家庭の孤立化を防止し、乳児の健全な育成環境の確保と児童虐待防止につなげる。					
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		生後4カ月までの乳児がいる家庭を訪問し、支援の必要な家庭の早期発見、子育ての孤立化を防ぐための相談、情報提供による子育て支援を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	訪問件数(新生児訪問を除く)	件	55	48	34	50	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.077	0.064	83	0.056	88	0.058	104	
	臨時職員	0.144	0.144	100	0.144	100	0.144	100	
支出内訳	人件費	1,260,733	1,204,325	96	1,126,982	94	1,161,874	103	
	事業費	0	17,960	-	1,880	10	10,000	532	
	合計	1,260,733	1,222,285	97	1,128,862	92	1,171,874	104	
財源内訳	国庫支出金	77,000	106,000	138	106,000	100	101,000	95	
	県支出金		39,000	-	20,000	51	101,000	505	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,183,733	1,077,285	91	1,002,862	93	969,874	97	
合計	1,260,733	1,222,285	97	1,128,862	92	1,171,874	104		

## ※ 事業の進捗状況

項目		25年度	26年度	27年度	28年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		こんにちは赤ちゃん事業訪問実施率(新生児訪問を除く)							
指標説明(式)		訪問件数/こんにちは赤ちゃん事業訪問対象件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	96	96	100.0	100	104.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

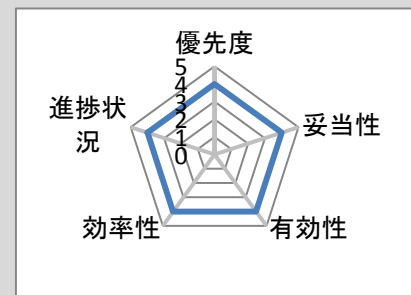
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	全ての生後4カ月までの乳児がいる家庭を全戸訪問することで支援が必要な家庭の早期発見、関係機関への引継等を行い、子育て支援を行える。	4
有効性	市民サービス	看護師(専門職)による訪問員が各家庭を訪問することで悩みや相談もしやすく、また、子育て情報も得やすい状況となっている。	4
効率性	手段の最適性	すべての乳児がいる家庭のうち、新生児訪問終了分以外の家庭の訪問であるため、現在の実施日程、訪問内容で適当と思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	専門職の訪問員の確保が困難。



配点	32.5
総合評価	26

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	乳児家庭の全戸訪問であるため、新生児訪問と連携しながら、家庭支援、今後のフォローの必要性などを把握することが必要。

(2) 29年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	子育ての孤立化を防ぐために、親の不安や悩みを聞き、子育て関連の情報提供を行う。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持